

# 平成29年度 第2回豊山町生活支援体制整備協議体 次第

日時 平成29年8月29日（火）

午前10時00分

場所 豊山町保健センター

## 1. 次長挨拶

## 2. 議題

(1) 豊山町の高齢者が必要とする生活支援の課題について

(2) 高齢者の皆さんへのいきいき安心生活ガイド（案）について

## 3. その他

## 平成29年度 第1回豊山町生活支援体制整備協議体議事録

1 開催日時 平成29年8月29日(火) 午前10時00分～午後12時00分

2 開催場所 豊山町保健センター 2階 研修室

3 出席者

(1) 参加者

豊山町民生委員協議会		中西	正司
豊山町老人クラブ連合会		江崎	弘
傾聴ボランティア みみっこ		今村	一正
ケアプランセンター ビィンズ		池山	豊子
豊山町商工会		二村	勲
豊山町社会福祉協議会		寺町	智津代
シルバー人材センター		小出	理恵
名古屋大学大学院 医学系研究科	地域在宅医療学・老年科学 講師	大西	丈二
豊山町生活福祉部保険課 高齢者・介護係 係長		横田	仁美
豊山町生活福祉部保険課 高齢者・介護係 主事		大下	収吾

(2) 事務局

豊山町生活福祉部次長 兼 地域包括支援センター所長		堀尾	政美
豊山町地域包括支援センター保健師主任			
	兼 生活支援コーディネーター	長友	妙子
豊山町地域包括支援センター保健師		大関	沙依

4 議題

- (1) 豊山町の高齢者が必要とする生活支援の課題について
- (2) 高齢者の皆さんへのいきいき安心生活ガイド(案)について

5 議事内容(要点筆記)

【司会】

本日は、大変お忙しい中、ご出席を賜りましてありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今より平成29年度第2回豊山町生活支援体制整備協議体を開催させていただきます。私は、本日の司会を務めます地域包括支援センター保健師の大関です。よろしくお願ひ致します。

なお、名古屋大学大学院講師の大西様から遅れて参加するとの連絡を頂いておりますので、ご報告させていただきます。

はじめに、生活福祉部次長の堀尾よりご挨拶申し上げます。

**【生活福祉部次長挨拶】**

本日はお忙しい中、第2回生活支援体制整備協議体にご出席頂きましてありがとうございます。今回は、新たにシルバー人材センターの方にもご出席頂いております。また、遅れて参加することですが、豊山町の高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定にご協力頂いております、名古屋大学院の講師の方にもご出席をお願いしております。計画策定にあたりまして、皆様と意見交換させて頂きたいと思っておりますので、本日はよろしくお願い致します。

**【司会】**

会議に入ります前に、配布資料の確認をさせていただきます。事前にお配りしました資料として「豊山町 高齢者の皆さんへのいきいき安心生活ガイド（案）」、本日配布しました資料として「第2回豊山町生活支援体制整備協議体 次第」、「名簿」「豊山町地区割図」です。

**【保健師主任】**

本日配布資料に追加があります。「豊山町 介護予防と暮らしのニーズ調査 中間報告」と「豊山町 在宅介護実態調査 中間報告」をお配りしておりますので、ご確認ください。

**【司会】**

2回目の協議体になりますが、今回から参加して頂く関係者の方がいらっしゃいますので、ご紹介もふまえ本日の参加者の皆様を名簿にそってご紹介します。豊山町民生委員協議会 中西正司様、豊山町老人クラブ連合会 江崎弘様、傾聴ボランティア みみっこ 今村一正様、ケアランセンタービィンズ 池山豊子様、豊山町商工会 二村勲様、豊山町社会福祉協議会 寺町智津代様、シルバー人材センター 小出理恵様、名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学 講師 大西丈二様、豊山町生活福祉部保険課 高齢者・介護係 横田係長、大下主事です。以上で参加者の皆様のご紹介を終わらせて頂きます。

続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。

**【生活福祉部次長】**

生活福祉部次長の堀尾です。よろしくお願い致します。

**【保健師主任】**

豊山町地域包括支援センターの保健師の長友です。よろしくお願い致します。

**【司会】**

保健師の大関です。皆様よろしくお願い致します。

それでは次第2の「議題」に入ります。「(1) 豊山町の高齢者が必要とする生活支援の課題について」について説明させていただきます。

**【保健師主任】**

この協議体では、皆様で気兼ねなく話し合いをして頂きたいと思っております。気付いたことや、日頃お考えになっていることなど、ご意見をよろしくお願い致します。

議題(1)「豊山町の高齢者が必要とする生活支援の課題について」について、資

料「豊山町 介護予防と暮らしのニーズ調査 中間報告」に基づき説明した。

名古屋大学大学院の大西様についてですが、今年度の豊山町の介護保険計画の立案にご協力頂いているという関係性があります。生活支援の課題や解決策など一緒に検討して頂けるということで、この協議体にも参加して頂いていますので、よろしくお願い致します。

【参加者】

「豊山町 介護予防と暮らしのニーズ調査 中間報告」について説明した。

【参加者】

アンケートの回収率が約7割というのは、高いような気がします。

【参加者】

私もそう思います。記入率も高い印象を受けています。

【参加者】

アンケートによると、「週1回以上外出していますか」という質問に対し「ほとんど外出しない」と回答した方が、6.7%いらっしゃるようですね。次の質問で「昨年と比べて外出の回数が減っていますか」という項目もあるようですが、それらについてさらに詳しい解析はされるつもりなのでしょうか。

【参加者】

はい。まだデータを詳しくまとめることはできておらず、単純集計の段階です。2つの質問項目について検討するクロス集計も行うつもりです。

【参加者】

どのような対象者層に焦点を当てれば、介護予防につながるのかということを知りたいです。このアンケートでは多くの質問項目が散らばっていますが、それらはおそらくリンクしていると考えられます。それらを集約しない限り、対象を絞り込むことは難しいのではないのでしょうか。対象を絞り込むことができれば、事業を展開しやすくなるのではないかと考えました。

【参加者】

その点について周りの方々と相談しながら進めていきたいです。

「週に1回以上は外出していますか」という質問項目については、例えば毎日外に出て畑作業をされる方は、買い物や仕事のようにどこか目的を持って外出している訳ではないという感覚から、「外出しない」と回答される場合があります。散歩なども同様です。このように、回答内容が実際とは一致していない場合もありますので、それを踏まえながら介入すべき点を見つけていきたいと考えております。

また、友人や知人と会う頻度が少ない方は、外出する頻度も少ないという印象を受けました。他者との交流が少ない方は、心配な要素があると思います。

【保健師主任】

前回の協議体でも、集まりの場に出てこない方に対して支援したいという意見がありました。

【参加者】

いろいろな場に出てくる方よりも、出てこなくなった方のほうが介護が必要になる

可能性があるのではないかと思いましたが。そのような、要介護の予備軍とも言える方への働きかけを大切にしたいです。そのため複数の質問項目を照らし合わせながら、対象となる層を絞り込めるように分析して頂けたらありがたいです。

【参加者】

単純集計として見ますと、基本チェックリストは運動機能で該当される方が多いようです。

【参加者】

運動機能は、他の項目に比べて比較的目に見えやすいため、該当率が高くなりやすいのではないのでしょうか。逆に、栄養機能は痩せないと該当になりませんから、該当率も低くなる傾向にあると思われそうです。

【参加者】

健康状態や幸福度の質問に対する回答については、他市町村と比べて良い方なのではないでしょうか。

【参加者】

現在ではデータが不十分であるため、正確に比較することはできません。ただ、健康状態については徐々にデータもそろってきており、およそ平均程度という印象です。ちなみに幸福度は年齢の影響を受けませんが、健康状態は影響を受けると考えられます。今回のアンケートでは85歳以上の方が含まれているということを考慮すると、健康状態は平均よりも良いかもしれません。

【参加者】

幸福度の質問は、10段階評価だと答えにくいのではないかと思いましたが、きちんと回答が返ってきているのですね。

【参加者】

アンケート全体を通して、男女比の比較が無いようですが、大きな差は出ないということでしょうか。

【参加者】

男女で分けると、女性のほうが年齢の高い方が多くなると想定されます。年齢別では集計しておりますが、男女比についても今後検討していきたいと思えます。

【保健師主任】

皆様から頂きましたご意見などを改めて追跡し、次回協議体の際にでもご報告できればと思います。

【参加者】

「バスや電車を使って1人で外出していますか」という質問に対し、「できない」と回答される方がいらっしゃいます。一方で、地域での活動について「参加してみたいと思えますか」という質問に対して参加意欲のある方もいらっしゃいます。これらの質問に関連性があった場合、移動支援などの必要性も生じてくるかもしれません。サービスは必要とする方に提供すべきものなので、どのようなサービスがどれほど必要とされているかも検討を重ねていきたいです。

【参加者】

現段階で把握している資料によりますと、「ふだんの生活でどなたかの介護・介助が必要ですか」という質問に対し「必要」と回答された方々は、地域活動への参加を希望する割合が低い傾向がみられます。もしかしたら、介護・介助が必要な方にとって、サロンなどは元気な方が行くところという認識があって行きづらいのかもしれない。

**【参加者】**

この協議体では、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」という方に対して支援することを特に考えたいです。このような方々は、外から見ているだけでは気付きにくいです。具体的にどのような特徴や傾向があるのかを知れたら、サロンや訪問などアプローチの方法を考えられるでしょう。

**【参加者】**

在宅介護では、認知症で困っている方が多くいらっしゃるのではないかと思います。先ほどのアンケートによると、地域活動にお世話役として参加しても良いと回答された方が137名いらっしゃいます。立ち位置をはっきりとさせれば、より多くの方に参加して頂けるのではないかと考えます。

**【参加者】**

「豊山町 在宅介護実態調査 中間報告」について説明した。

**【保健師主任】**

協議体の目的は高齢者のちょっとした困りごとに対応する支援を検討して頂くことです。介護者に回答して頂いた本報告は、豊山町の現状を知ることに役立てていきたいと思えます。

豊山町の高齢化率について、資料「豊山町地区割図」に基づき説明した。

**【参加者】**

高齢者の分布を地域別に見ることはできますが、町全体でとらえるのが大切ではないでしょうか。前回の協議体でお話したように、自治会への非加入者は年々増加しています。自治会への非加入者が増えると、地区全体の状態把握が難しいという問題が生じてきます。その結果、自治会の委員が動き回って状態把握に努めなければならなくなり、委員への負担増加につながると考えます。高齢化率の高い地区に働きかければ良いというような、単純な話では収まらないでしょう。先ほどの発言にもありましたように、要介護の予備軍の方々は外から見えにくいです。そのような方々を把握するためには、それだけ地域の情報を吸い上げる必要があるというこだと言えます。今回、新たにシルバー人材センターの関係者の方にも参加して頂きましたが、他にもボランティア関係団体など、なるべく多くの方にご協力頂く必要があると考えます。

地域サロンには民生委員が当番制で参加しておりますが、そこで得た情報によるとサロン参加者はほぼ女性です。ひまわりのサロンには男性も2～3名いらっしゃるようですが、やはり女性に比べると圧倒的に少ないです。印象として、女性は日頃からお喋りが好きな方が多いので、輪が広がりやすいのだと思います。そのように考えると、男性の居場所づくりについて考えて頂けると良いかもしれません。

**【保健師主任】**

男性は仕事が生活の中心であった方が多く、地域で交わる時間が少なかったと思われます。男性が地域に出向きやすいような方法があれば、ご意見をお願い致します。

【参加者】

男性向けサロンを作れば必ず上手くいくとは限りませんよね。サロンに参加して頂くために、動機づけをする存在が必要かと思います。一番参加しやすいのは町内会ではないかと思います。担当が必然的に回ってくるからです。

【保健師主任】

役割があると外に出やすいということですね。

【参加者】

シルバー人材センターの場合だと、むしろ男性会員のほうが多いです。女性は、男性の半数ほどです。女性会員も増えると良いのですが、男性のほうが仕事への意識が強いように思います。もしかしたら、家に居づらいために仕事に行きたいのかもしれない。女性はサロンやサークル、ボランティアなど様々なお付き合いがある方が多く、男性とはニーズが異なるのだと思いました。男性の場合、働ける方であればシルバー人材センターに登録されると外に出るきっかけになって良いのではないかと思います。女性は夫の介護や家事などによって、働くのが難しい場合もあるでしょう。夫に先立たれて、生活のために働く必要がある方なども中にはいらっしゃるかもしれません。

【保健師主任】

会員の年齢層などはどうでしょうか。

【参加者】

年々、年齢層が上がっているように感じております。平均的には、72～73歳位でしょうか。

【参加者】

シルバー人材センターで活躍されていた方が辞めるきっかけとしては、身体が悪くなったからという理由が多いのですか。

【参加者】

それも考えられます。

【参加者】

仕事としてでなくても、OB会などのように、辞めてからもネットワークを続けられ外に出ることにつながるのではないかと考えます。

【参加者】

定年まで働かれていた方が、第2の人生としてシルバー人材センターに登録し、地域の友人が増えるということはありません。辞められた後でも、気の合う方だとお会いになることもあるようです。

【参加者】

地区割図を見て思ったのは、後期高齢者の多い地区だからといって老人クラブ活動も活発だとは限らないということです。逆に、若い世代や転入者が多くても、活発に活動している地区もあります。これは、ただの偶然かもしれません。しかし、重要な

のは引っ張ってくれる人が地区にいるということだと思います。そういう存在が1人か2人いるだけで、団結につながるのではないのでしょうか。

また、情報を得ることも大切です。転入者ばかりの地区は情報が入りにくいです。相手に年齢などは聞きにくいので老人クラブに誘うのも難しいです。

先ほど話題に出ましたように、男性は家に居づらいから働きに出かけるというのは一理あるかもしれませんが。しかしシルバー人材センターに行って疲れるということも考えられます。そうなると、結局どこにも居場所がなくなってしまいます。

#### 【参加者】

他県で「男性の健康寿命日本一」と謳っている市町村があります。そこの特徴として、趣味のサークルが非常に多いということが挙げられます。何か趣味があれば、たとえ2～3人であっても集まるのだそうです。趣味が複数ある方は、複数のサークルに入っている場合もあり、その予定で1週間が埋まってしまう場合もあるようです。男性を対象にするなら、趣味を活かしたサークルを立ち上げてみるのが良いかもしれません。そこで、今回事前に配布された資料「豊山町 高齢者の皆さんへのいきいき安心生活ガイド(案)」4ページに記載されている「伊勢山地区古今歴史を語ろう会」についてお話しします。歴史を語り合う趣味活動をしており、毎回15～20人程度の参加者がいらっしやいます。実は、この参加者の多くは老人クラブの会員ですが、老人クラブの会合にはあまり顔を出さない方々もみえます。しかし、このサロンにはきちんと来ています。それならそれで良いことだと思います。町で1つではなく、地区ごとの小さな趣味サークルを作るのが良いのではないのでしょうか。

先ほどのアンケートについて話が戻りますが、地域活動に「是非参加したい」「参加してもよい」と回答した方は、合わせて50%以上いらっしやいます。一方で、そのお世話役として参加することについては、「是非参加したい」がたった2.1%、「参加してもよい」が30.4%という回答状況でした。このことから、お世話役はやりたくないが地域活動には参加したいと考える方が多くいらっしやるのではないのでしょうか。お世話役として「是非参加したい」と回答した2.1パーセントの方を発掘できれば、地域活動の場を立ち上げやすくなるでしょう。

#### 【参加者】

地域活動の場の立ち上げという話題が出ましたので、住民主体サロンについて説明させていただきます。おっしゃるように、「伊勢山地区古今歴史を語ろう会」の参加者は男性のみです。また、「健康数珠つなぎの会」にも男性参加者が多いです。趣味が広がったサロンという印象です。「サロン第4火曜会」は、今は女性も多いですが、立ち上げ当初は男性主体で活動されていました。この例を見ると、男性が自らサロンを立ち上げて参加者を引っ張っていく形もあるとわかります。「スマイルクラブ」はロコモ予防体操をきっかけにして集まった趣味のサロンです。「サロンゆるりん」は富士供用施設という1つの場所で、カラオケや卓球など、皆がそれぞれ好きなことを楽しみ、最後に一緒にお茶を飲んでいきます。「はまゆうの会」は、男女比は半々くらいで、皆でお喋りを楽しんでいます。これ以外にも、新しいサロンが立ち上がりました。趣味の集まりであっても、介護予防につながる目的や内容を取り入れれば、住民主体

サロンとして活動の支援を行うことができます。

**【参加者】**

男女に関わらず、高齢者は非常に豊かな経験を持っていらっしゃると思います。私が注目したのは、老人クラブの女性参加者による物づくりの技術です。具体的には、編み物やビーズなどの作品です。会話を楽しみながら、参加者を趣味のアドバイザーとして集まっても良いのではないかと思います。持っている技術を披露して褒められるのは、高齢者にとっても嬉しいことだと思うのです。理想としては展示場が欲しいです。作品を売ることまでは難しいかもしれませんが、どうでしょう。

**【参加者】**

シルバー人材センターでは手作り小物を作っている方もおり、実際に作ったものを販売することもあります。老人クラブにそのような方がいらっしゃるのであれば、シルバー人材センターの会員になって頂き、その技術を活かして頂くことが可能です。展示する設備もあります。

**【保健師主任】**

地域包括支援センターでは介護予防として運動の紹介などを行っていますが、ニーズは人それぞれで、運動したい方や話したい方ばかりだとは限らないと感じています。趣味という重要なキーワードを出して頂きましたが、文化協会のグループもありますが、知らないの人もいるのではないかと思います。地区ごとの集まりのように、歩いて行ける距離で将棋を打てたり、絵を描けたりするのは良いと思います。好きなことを1人で楽しむのも良いですが、皆で楽しめれば社会参加になり介護予防にもつながります。昨年度からは、住民主体サロンの活動支援を始めています。5名以上参加することや月1回以上開催することなどの条件はありますが、活動が広がっていくように取り組みたいと考えています。

**【参加者】**

私の知っている趣味の集まりについての話になりますが、開始当初は講師を招いていました。講師には1回あたり数千円を支払っていたため、相応の会費が必要でした。そこで、参加者自身が講師を務められるような制度を作ってみたところ、会費が非常に安くなりました。お金がかかると、お金を払える人しか参加できませんし、長続きしないだろうと私は考えています。

**【参加者】**

自分の身体1つあれば参加できるような集まりが良いということですね。

**【参加者】**

そのような趣味の集まりを作ることを考えていきたいです。

**【保健師主任】**

この場で頂いた案をもとに、具体的にどのような形で実現していくか相談させて頂きたいと思いますので、その際はよろしくお願い致します。

それでは、次の議題に移ります。

議題（2）「高齢者の皆さんへのいきいき安心生活ガイド（案）について」について、資料「豊山町 高齢者の皆さんへのいきいき安心生活ガイド（案）」に基づき説

明した。

【参加者】

この資料は、住民の方に配布するとなるとページが多いと感じました。

【保健師主任】

確かに、前回の協議体でも、まずは高齢者に読もうと思って頂くことが大切だご意見を頂きました。

【参加者】

それを意識して、大きな文字で印刷されているのですよね。

【保健師主任】

はい。高齢者にとって見やすいようにしていきたいと考えています。

【参加者】

空欄は、それぞれの団体が書き込む必要がありますね。

【保健師主任】

書き込む内容について、ぜひ皆様から案を頂きたいと考えております。実際に活動されている立場からのご意見には、重みがあるのではないかと思います。

【参加者】

私は、前回の協議体の内容を参考にして、生活支援に関するサービスをチラシにまとめ、配りました。配った相手からは、「こんなサービスがあったのか」という反応を多く頂きました。サービスについて知らない人が多いのだと感じました。

【保健師主任】

今回は住民の方への情報提供として配布できるよう、この資料を作成しました。ページ数としては多くなっておりますが、サービスが必要な方はもちろん、そうでない方もサービスの存在について知って頂くきっかけになれば良いと考えております。

【参加者】

12ページ「③日常の生活」の中の項目「(5) その他」は、シルバー人材センターの活動内容としてまとめても良いのではないのでしょうか。

【参加者】

高齢者の方への説明資料として利用する場合、対象者別でページを分けた方が良いのではないかと思います。例えば、後半ページは要支援以上の認定を受けている方に絞るなどの方法です。

【保健師主任】

確かにページで対象者を区別した方が、見やすいかもしれません。

【参加者】

この資料は、誰に、どのような方法で配布する予定でしょうか。

【保健師主任】

配布する対象者は、65歳以上の方を考えております。介護認定を受けていても受けていなくても使えるサービスが網羅されることを目指しています。できれば役場以外の公共の施設にも置かせて頂き、自由に持って行って頂ける形をとったり、出前講座などの際にも配布し、口コミのように広まっていったりすることも期待しています。

また、高齢者の転入などがありましたら、窓口でお渡しすることも考えています。

【参加者】

不特定多数に持って行って頂くのではなく、例えば民生委員の方などに直接お渡しして頂く方が良いのではないのでしょうか。不特定多数を相手にすると、見るだけで終わってしまって実際のサービス利用にはつながりにくいのではないかと思います。

【参加者】

1冊ではなく2冊に分けるのはどうでしょうか。介護認定を受けている方と、そうでない方とで、配る冊子に分けるのです。

【参加者】

これは総合冊子として残しても良いと考えます。お元気な方やご家族などには参考になるでしょう。それに加えて、対象者に応じて目的別により簡潔な冊子を配るのも良いのではないのでしょうか。

また、サロンの場などをマップで表示するのも効果的ではないかと考えました。

【参加者】

資料「豊山町地区割図」を見ると、町内の日用品や食料品を買える場所が分かりやすいと感じました。さらに、「鍵が開かない」などの日常の小さな困りごとに対応できるお店の場所も表示と活用できるのではないのでしょうか。高齢者が歩いて行ける範囲のことを把握するためには、細かいお店の情報も必要かもしれません。

【参加者】

実際のところ、マップは難易度が高いと思います。常に変わっていくのでそれだけ更新が必要になります。

【参加者】

豊山町にもグルメマップがありますが、それも1年使えば良い方かもしれません。住所や電話番号などを入力するので変更時の対応が困難な点があります。

【参加者】

もちろん、無いよりはあるほうが良いと考えます。一般向けに公開せず、役場が情報として持っている分には問題ないでしょう。

【保健師主任】

様々なご意見をありがとうございます。先ほどの、冊子を対象者別に分けるという案についてさらに検討するつもりです。また、やはり冊子は人の手から直接対象者の方に渡った方が良いと考えられますので、ぜひ民生委員の方にもご協力頂きたいと考えております。

【参加者】

それにより、民生委員も高齢者世帯に訪問する口実ができ、訪問しやすくなると考えられます。

【保健師主任】

その際には、ぜひご協力をよろしくお願い致します。

皆様、本日は多くのご意見を出して頂きありがとうございました。協議体の今後の流れにつきましては、今回ご意見を頂いた内容について、来年度からの事業計画を立

て、次回の協議体にてご報告をさせて頂きたいと考えています。次回の協議体の開催は、10月2日を予定しております。

**【司会】**

これで本日の日程はすべて終了しました。これをもちまして、平成29年度第2回豊山町生活支援体制整備事業協議体を終了します。ご協力ありがとうございました。

# 豊山町

## 高齢者の皆さんへの

## いきいき安心生活ガイド（案）



豊山町の高齢者のみなさんが、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、さまざまな支援が用意されています。今必要な人はもちろん、今必要ではない人も、どんな支援があるか知って頂きたいと思い作成しました。高齢者や家族のみなさんの生活の心配や不安をなくしていくために、この冊子をご活用ください。

豊山町地域包括支援センター

# もくじ

①	交流する	3P
②	健康づくり・介護予防	8P
③	日常生活	
	・ 買い物、食事	9P
	・ 洗濯、掃除	10P
	・ 生活支援全般	11P
	・ お風呂	11P
	・ その他	12P
④	外出	12P
⑤	安心	13P
⑥	相談窓口	14P

# ①交流する

## (1) 町主催のサロン

	内容	開催日時	場所
元気はつらつサロン	筋トレ・脳トレ 体操やレクリエーション	原則第1・3水曜日 午後1:30~2:30	福祉センター しいの木
健康ほっと サロン ひまわり	音楽サロン・ ボールを使った 体操	原則第1・3火曜日 午後2~3時	福祉センター 南館ひまわり
うたごえ クラブ	昔懐かしい音楽 を合唱や簡単な 楽器演奏	原則第3木曜日 午前10~11時	福祉センター 北館さざんか

※開催日に変更がある場合がありますので、参加をご希望の方は「広報とよやま キラリ健康ナビ」のページをご覧ください。



## (2) 社会福祉協議会のサロン

	内容	開催日時	場所
ふれあい食事会			
オレンジカフェ			

## (2) 住民主体サロン



名称	内容	開催日	開催場所
サロン第4火曜会	茶話会・レクリエーション	第4火曜日	上西・上東公民館
スマイルクラブ	ロコモ予防体操・筋トシ・茶話会	第3月曜日	富士供用施設
伊勢山地区古今歴史を語ろう会	伊勢山地区歴史の語り合い	月1回	南館ひまわり又は神明館
サロンゆるりん	カラオケ・筋トシ・脳トシ・茶話会	第3火曜日	富士供用施設
健康数珠つなぎの会	町内ウォーキング・健康体操・講和	第3水曜日	東部供用施設
はまゆうの会	茶話会	第1・3・5水曜日	豊山住宅第1集会所

※開催日や場所に変更がある場合がありますので、参加をご希望の方は地域包括支援センターにご連絡ください。

写真

写真

### 住民主体サロンとは

以下の条件を満たすサロン活動を行う団体に対し、立ち上げの支援や活動費の補助（1回あたり3,500円）を行います。

- ①町民が代表 ②65歳以上の住民が5名以上参加 ③定期的に月1回以上開催
- ④1年以上継続して実施 ⑤サロン活動に対して他の補助を受けていない
- ⑥原則として新たな参加者を拒まない ⑦営利・宗教・政治活動等に利用しない 等

◆住民主体サロンの運営に興味がある方は社会福祉協議会へご連絡ください◆

### (3) 健康体操グループ



名称	対象	開催日	時間	場所
シニア	60 歳以上の住民の方	毎週火曜日	午前9時 30 分 ～11時	社会教育 センター
ビバ		毎週火曜日	午後1時30分 ～3時	新栄供用施設
すみれ		毎週木曜日	午前9時 30 分 ～11時	新栄供用施設
たんぽぽ	住民の方	毎週水曜日	午前 10 時～ 11 時 30 分	東部供用施設
さざんか		毎週水曜日	午後1時30分 ～3時	富士供用施設
さわやか 体操	60 歳以上の 住民の方	毎週金曜日	午前9時 30 分 ～11時	社会教育 センター
ラジオ体操	住民の方	毎週月・木曜 日（悪天候の時 は中止）	午前 8 時30 分～9時	神明公園
太極拳 （あおぞら会）		毎週金曜日	午後2時～4 時	社会教育 センター
太極拳 （ひばり）		毎週火曜日	午後2時～4 時	社会教育 センター

### (4) 文化協会

活動内容のせる



## (5) 老人クラブ

活動内容



救急キットの紹介

加入方法

## (6) 商工会 とよやま朝市

内容



## (7) シルバー人材センター

活動紹介

加入方法について



## (8) ボランティア団体紹介

町のボランティア団体の紹介

加入方法について



## ②健康づくり・介護予防

### (1) 地域包括支援センター介護予防教室

対象者：65歳以上の住民の方



名称	内容	開催日
元気教室		
ロコモ予防教室		
ボールクラブ		
音楽クラブ		
折り紙クラブ		
男性の簡単料理教室		



### ◆ 総合事業 通所型サービス（デイサービス）

対象者：すでに要支援1・2と認定されている方  
 新たに要支援1・2と認定された方  
 基本チェックリストに該当した方

名称	内容	利用者負担	負担額の日安 (1割負担の場合)
通所介護サービス	介護予防のため、デイサービスセンターで生活機能を向上させるための機能訓練、仲間づくりや、食事や入浴を利用する。	原則1割負担（一定以上の所得がある方は2割） +食事代等	週1回程度 一月あたり 約2,000円

※利用を希望の方は地域包括支援センターにご連絡ください



# ③ 日常の生活

## (1) 買い物・食事

高齢者の方に便利な民間生活支援サービスをご紹介します



### (食品・日用品の宅配サービス)

店名	内容	対象者	配達料金	連絡先
大安商店	お米、飲み物、野菜など。宅急便の集荷。	町内在住者	無料	28-0120 又は 090-5038-6936 ※受付時間9～18時
アピタ 名古屋空 港店	食料品や日用品	事前に 会員登録 した方	配達料1回 につき300 円+消費税	0120- 560-636 ※受付時間 9～14 時、月曜休み
セブンイ レブン	店内で販売している商品。栄養管理された日替わり弁当、日替わり惣菜セットもあり。	事前に 会員登録 した方	注文料金 500円以上 で無料。 500円未満 の場合123 円。	(会員登録電話番号) 0120-736-158 (注文用電話番号) 0120-736-014 ※配達希望日の前 日10時30分まで に電話又は店頭で 注文

### (お弁当の配達)

対象者：要支援1・2、基本チェックリスト該当者の方で日常的に食材の調達や調理が困難な状況にある65歳以上の一人暮らし、または高齢者のみの世帯の方。

名称	内容
ほっとあんしん宅配サービス	町が指定する宅配業者からの宅配弁当の利用料について1食あたり140円を補助



※利用を希望の方は地域包括支援センターにご連絡ください

## (その他の配達)

店名	内容	対象者	配達料金	連絡先
新栄薬局	紙おむつ、介護用品、医療薬品など	町内在住者	無料	28-3368 ※受付時間 9~18時
小塚石油	灯油の配達 ※ストーブの灯油タンクに給油はできません	店舗まで出かけることが困難な方	18 リットル缶に対して1缶あたり130円	28-0160 ※受付時間 9~18時

## (買い物代行)

	対象者	利用料金	連絡先
低額有償家事援助サービス あいあい	介護認定を受けていない65歳以上の高齢者のみの世帯の方	30分以内1回 300円(上限1回2時間)	シルバー人材センター ☎28-6322



## (2) 洗濯、掃除

	内容	対象者	利用料
寝具洗濯乾燥委託の助成	敷布団毛布などの洗濯・乾燥・消毒の費用の助成	要介護・要支援認定者	委託費用の1割負担 (助成限度額7,000円) 年2回まで
ホームヘルプサービス	自宅にヘルパーを派遣し調理、洗濯や掃除、などの援助を行います。	介護認定を受けていない65歳以上の1人暮らしや高齢者世帯の方で一時的に援助が必要な方	1時間あたり235円

※利用を希望の方は役場保険課高齢者・介護係にご連絡ください



	内容	対象者	利用料
大掃除サービス	居間、台所、浴槽、洗面所、トイレなどの大掃除費用の助成	社会福祉協議会の会員のうち要介護認定者で自力で掃除が困難な方	1,800円 (限度額16,200円) 年1回まで

※利用を希望の方は社会福祉協議会にご連絡ください

### (3) 生活支援全般

#### 総合事業 訪問型サービス（ヘルパー）

対象者：すでに要支援1・2と認定されている方  
新たに要支援1・2と認定された方  
基本チェックリストに該当した方



名称	内容	利用者負担	負担額の目安 (1割負担の場合)
訪問介護サービス	ホームヘルパー等が家庭を訪問し掃除、洗濯、調理、買い物等の生活支援等を行います。	原則1割負担（一定以上の所得がある方は2割）	週1回程度 一月あたり 約1,295円
かっぽうぎサービス	シルバー人材センターの会員が買い物等の60分以内の日常生活支援を行います。	1回あたり100円又は200円 (1週間あたり1回まで)	

※利用を希望の方は地域包括支援センターにご連絡ください

### (4) お風呂

無料でご利用いただけます



総合福祉センターしいの木 (☎29-0002)

午後3時～4時まで

総合福祉センター南館ひまわり

男性	4・6・8・10・12・2月	午後1時～2時20分
	5・7・9・11・1・3月	午後2時40分～4時
女性	4・6・8・10・12・2月	午後2時40分～4時
	5・7・9・11・1・3月	午後1時～2時20分

総合福祉センターさざんか 午前11時30分～午後1時

男性	4・6・8・10・12・2月	月・水曜日
	5・7・9・11・1・3月	火・木曜日
女性	4・6・8・10・12・2月	火・木曜日
	5・7・9・11・1・3月	月・水曜日

## (5) その他



	内容	対象者	利用料金	連絡先
買い物付き添い、診察券出し、ゴミ出し、話し相手、庭の手入れ、電球取り換え、裁縫、布団干しなど	低額有償家事援助サービス あいあい	要介護認定を受けていない 65歳以上の高齢者世帯の方	30分以内 1回300円	シルバー人材センター ☎ 28-6322
訪問美容サービス	※町内で可能な理美容院を調べる			



## ④外出

	内容	対象者
タクシー利用の助成	初乗り運賃と迎車料金を助成するタクシー利用券を月あたり2枚交付(1回の乗車につき1枚使用)	要介護・要支援認定者
移送サービスの助成	リフト付き車両やストレッチャー装着ワゴン車などの利用料金を助成 (助成限度額) 14,400円 (利用回数) 年1回	要介護・要支援認定者

利用を希望の方は役場保険課高齢者・介護係にご連絡ください

	内容	対象者
福祉車両貸出サービス (無料)	車いすを利用されている方の移動手段のため、車いす対応の「車両を無料で貸し出します。原則3日間、運転手の確保ができることが条件。	社会福祉協議会会員世帯
通院送迎サービス (無料)	社会福祉協議会から半径 1.5 km 以上、5 km 未満の医療機関への送迎を行います。	社会福祉協議会賛助会員(20以上)のうち、要介護・要支援認定がある方。

※利用を希望の方は社会福祉協議会にご連絡ください



# ⑤安心



	内容	対象者	利用料
緊急通報福祉電話の貸与	対象者の自宅で使用する緊急通報用の福祉電話器や火災報知機を貸与	1人暮らしの要介護・要支援認定者	無料 (基本料金、通話料金は自己負担)
日常生活用具貸与	自宅で使用するガス漏れ警報器や電磁調理器を貸与	住民税非課税世帯の1人暮らしの要介護・要支援認定者	無料
GPS貸出	徘徊行動のみられる方の早期保護と安全確保のため位置情報検索システム(GPS)を貸与	徘徊行動がみられる要介護・要支援認定者	1月あたり500円

## 民生委員の活動紹介

## 町の取組の紹介

### 高齢者等見守り協定

高齢者等の見守りや異変の早期発見を目的に、新聞販売、牛乳・乳製品販売、電気・ガス・水道、郵便局、金融機関、配食サービス業者と協定を結んでいます。新聞がたまっている、最近顔をみない等異変を感じた場合は、保険課高齢者・介護係に連絡が入り、安否確認や必要な支援を行います。



## ⑥ 相談窓口紹介

豊山町地域包括支援センター

豊山町保険課高齢者・介護係

豊山町社会福祉協議会



# 豊山町地区割図

65歳以上人口に占める

75歳以上人口の割合

橙・・・50%以上

黄・・・40%以上

緑・・・30%以上

	65歳以上人口	75歳以上人口	後期高齢者割合
西之町1	135	69	51%
西之町2	58	29	50%
名栗1	91	43	47%
名栗2	98	75	77%
大門	155	70	45%
団地1・2	131	42	32%
分譲住宅	116	57	49%
青塚1	86	46	53%
青塚2	185	63	34%
青塚3	251	109	43%
伊勢山1	100	48	48%
伊勢山2	163	71	44%
伊勢山3	131	56	43%
諏訪	142	62	44%
新町北・南	169	99	59%
中之町	129	54	42%
新田1・3	197	75	38%
新田2	135	53	39%
栄	210	100	48%
下青山	139	66	47%
中稲	130	45	35%
九十野	124	60	48%
上西	125	58	46%
上東	81	28	35%
合計	3281	1478	45%

